

## 足利市「学校ボランティア市(いち)」

**【活動の概要】** 足利市教育委員会では、学校ボランティアに登録された個人やグループの方々の活動内容について理解していただくと同時に、「総合的な学習の時間」等の授業で学校を支援するボランティアの方々に活躍いただくことを目指して、「学校ボランティア市(いち)」を開催している。

**【始めるきっかけ】** 平成13年から足利市教育委員会で学校ボランティアを募集し、各学校への情報提供・情報交換や研修を実施してきたが、学校での実際の活動機会が少ないというのが現状であった。そこで、学校の先生にボランティアの活動を参観・体験していただくことにより理解を深めることを目的に、平成15年に第1回学校ボランティア市(いち)を実施した。

ボランティア市で紹介された各ボランティアの活動が大変充実していて、「総合的な学習の時間」等の授業として実施できる内容であることから、平成16年度には、実際の授業として児童が参加し、保護者等にも参観・体験してもらうまでに発展した。

**【活動の内容】** 足利市民プラザを会場に、各ボランティアがブースをつくって活動できるように準備をし、児童が時間ごとに各ブースをまわり様々な体験や実践が行われた。

平成16年度は、足利市立南小学校の3年生が「総合的な学習の時間」の一環として参加してくれた。また、小中学校の教員や保護者も交え、約230名の方が会場に集まり、活気あふれる中での開催となった。

全部で11のブースが用意され、要約筆記、手話、外国の紹介、民話の語り、茶道、生け花、工芸、折り紙、水泳のための基礎運動、英語指導、パソコン指導という内容である。

ボランティアの方には、限られた時間で指導していただくことから、プログラムづくりや参加学年にわかるような内容の検討を事前研修で準備していただいた。研修会ではボランティア同士の交流とネットワークの充実も含め、共に学び合う場がつけられている。



<各ブースの様子>

**【成果と課題】** 成果としては、

- 各学校の先生方に実際に学校ボランティアが指導する活動の様子を見ていただくことで、今後の学校におけるボランティア支援の参考となった。
- 保護者の参加もあり、学校ボランティアの活動に対する理解がより広がった。

- 
- 子どもたちは、興味・関心をもって幅広い体験活動を実施することができた。
  - 学校ボランティアにとっては、実際に子どもたちを指導することにより、今後学校で指導する上で必要とされることを学べる機会となった。

課題としては、

- 学校ボランティア市を実施する会場等が限られているため、参加できる学校が決められてしまうこと。市内全域で実施できるような方法を考えていく必要がある。
  - 学校ボランティアと学校を結ぶコーディネートの役割を、行政主体で実施していくのでは限界があり、よりきめ細かい取組が各地域でできるようなコーディネーターの養成が必要である。
- 

## ★ ここが特徴！

- ☆ 幅広い学習活動を、学校が負担なく児童・生徒に提供できる。
- ☆ 子どもたちは興味・関心をもって体験活動ができる。
- ☆ 実際の活動を見てもらうことにより、学校ボランティアが学校で活動するための機会となる。
- ☆ 事前研修により、学年に対応した学校ボランティアの活動が実践できる。
- ☆ 学校ボランティアが実践活動をするための事前学習の場になっている。
- ☆ 先生だけでなく、保護者等の理解も深められる